

(別表)消費者教育に関連した団体等の取組

資料4

番号	団体名	取組名	内容	令和4年度実績	令和5年度予定
1	NPO法人消費者サポートネット和歌山	セミナー開催	消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会づくりに寄与するため、毎年1月と5月に、その年の関心の深いテーマを選んで一般対象向けにセミナーを開催。	5月28日総会記念講演会実施 ”「ひとり死」時代に誰に最後を託すか～変わる葬儀とお墓のかたち～(一社)シニア生活文化研究所代表 小谷みどり オンライン会場・リモート参加 計50名 令和5年1月29日公開セミナー”デジタル遺品の探し方、しまい方、残し方”日本デジタル終活協会代表理事 伊勢田篤史弁護士 オンライン会場・リモート参加 計45名	令和5年5月27日総会記念講演会実施 ”笑う門には金きたる”生活経済ジャーナリスト いちのせ かつみ オンライン会場・リモート参加 60名 令和6年1月20日公開セミナー ”お天気キャスターに学ぶ 気候変動とわたしたちの暮らし” 実施予定
		出前講座	消費者が安心・安全な生活を営め、消費者市民社会の一員として自ら考え、行動できるよう、各年代(小学校・中学校・高校・支援学校・大学・一般)に応じた消費者教育・消費者啓発講座を実施。	県内3校及びその保護者、一般対象・消費者行政担当者・生活教養講座・老人大学など22講座	県内5校及び2市での生活教養講座を実施済、学校・一般対象・消費者行政担当者・老人大学などで実施予定
		見守り育成事業	高齢社会の中で地域で見守り活動を行う人材を育成。	橋本市くらし応援隊育成事業、民生児童委員協議会、社会福祉協議会他	民生児童委員協議会、社会福祉協議会、老人クラブ連合会、消費者団体実施済、橋本市くらし応援隊育成事業実施予定
		情報発信事業	消費生活等に関する情報発信により、消費者被害の防止を図り、自立した消費者を目指す。	年3回、”くらしの情報アンテナ”を発行、街頭啓発への参加、橋本市消費者支援交流会へ参加、消費者シンポジウムへ出席参加	年3回、”くらしの情報アンテナ”を発行、街頭啓発への参加、橋本市消費者支援交流会へ参加
2	和歌山県生活協同組合連合会	消費者啓発講座・学習会	消費者が安全で安心なくらしが営めるよう、消費者市民社会の形成に向けた学習会の開催や他団体の企画に協力、参加する。	県内の消費者行政充実につながるよう、行政や消費者ネットワークわかやまや消費者支援機構関西(KC's)等と連携して、消費者が安心して暮らせる社会づくりにとくみました。	6月24日、消費者支援機構関西(KC's)の総会記念シンポジウム「フォーシーズン差止め請求裁判の意義をくらしから考える」に参加しました。県内の消費者行政充実につながるよう、行政や県内諸団体と連携したとくみをすすめます。 県下の消費者団体とのネットワークづくりにつとめ、消費者ネットワークわかやまや消費者支援機構関西(KC's)等と連携して、消費者が安心して暮らせる社会づくりにとくみます。
		消費者啓発 こどもの貧困への支援(消費者市民社会の構築)	誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について学び行動し、安心で安全な地域社会をめざす一環。ひとり親世帯などで子ども食堂を利用する人たちへの食の支援。	「CO・OP共済 地域ささえあい助成」の「協同はじまる助成」を受け、NPO法人こども食堂わかやまと共同で和歌山県内のこども食堂利用者やひとり親世帯の支援をすすめました。	行政や地域運営組織、NPOなど多様な地域主体とのネットワークを通じて、こどもの貧困や単身高齢世帯がかかえる課題解決に貢献します。
		生協連ニュースの発行	発行する広報誌に消費者被害の事例を掲載することで消費者被害の防止を図る。	和歌山県消費生活センターが発行する「ホットな消費者見守りニュース」の中から事例を継続して掲載しています(年3回発行)。	発行する広報誌に消費者被害の事例を掲載することで消費者被害の防止を図る。
		和歌山大学経済学部寄附講義で授業を担当	和歌山県労協による寄附講義で講師を務め、学生に消費者教育の一環として協同組合を知らせる	和歌山大学経済学部寄附講義で3コマの授業を担当しました。 ・2022年6月16日「SDGs時代と協同組合の役割」 ・2022年6月23日「生協の社会的役割の発揮」 ・2022年6月30日「医療福祉生協入門」	和歌山県労協による寄附講義で3回の講義を担当。学生に消費者知識として、協同組合とは、協同組合主義、協同組合の役割を学んでもらうとともに、世界、日本、和歌山県の協同組合の現状を発信しました。 6月15日 44名受講 テーマ「協同組合の基礎知識」 6月22日 49名受講 テーマ「生協の社会的役割の発揮」 6月29日 49名受講 テーマ「医療福祉生協入門」
		SDGs学習会の開催	和歌山県協同組合組織連絡会として確認した「SDGsの取り組みに向けた申し合わせ」を基本に学習会を開催。また、日本協同組合連絡会に結集し、協同組合、生活協同組合の社会的役割を考え、実践を学ぶことから持続可能な社会を目指す。	和歌山県協同組合組織連絡会(構成:JA和歌山中央会/JF和歌山県漁連/和歌山県森連/和歌山県生協連)として協同組合間の連携と地域の課題を考えるとくみをすすめました。 ●第16回国際協同組合デーin和歌山 日時:2022年7月1日 内容:記念講演「人口減少社会における地域のあり方」 講師 河合 雅司氏 ●協同組合学習会 テーマ:「社会的連帯経済とは何か」 日時:2022年11月8日 講師:藤井 敦史氏(立教大学教授)	・協同組合や地域の諸団体と連携して、地域の課題を考えるとくみをすすめます。 ・日本協同組合連携機構(JCA)のとりくみに参加し、他の協同組合との連携の強化をはかります。 日時:2023年7月5日 内容:記念講演「食の自給率向上と食による地域づくり」 講師 益丸 弘美 氏(作家) 高知大学客員教授、大正大学客員教授
		(消費者啓発) 生協大会記念講演	社会のデジタル化に対応した消費者教育として、また、消費者一人一人の豊かな生活を目指して、講演会を開催。	第32回和歌山県生協大会 和歌山県生協連ですすめる消費者教育の活動を広く知ってもらえる機会となるよう、第32回和歌山県生協大会を開催しました。 日時:2022年12月8日 講師:立命館大学客員教授の菫中 三十二氏 テーマ:「現在の国際情勢と日本の針路」 参加:72名	第33回和歌山県生協大会 日時:2023年12月6日 講師:井出 留美(いで るみ)氏 株式会社office3.11代表取締役。 テーマ:「世界の食品ロス対応」
		消費者啓発 大学生への食の支援(消費者市民社会の構築)	誰ひとり取り残さない社会の実現に向けて、消費者としてSDGsの17の目標について、学び行動し、安心で安全な地域社会をめざす一環として、コロナ禍の中、多くの大学生が生活困窮に陥っている状況にある学生への食の支援を実施しました。	・大学生への食の支援 新型コロナウイルス感染症の影響がつづき、くらしが厳しい大学生の食を支援するとりくみをすすめました。 今年度は、和歌山大学生協、和歌山県立医科大学生協の食堂にて「ライス全品50円引き」を実施しました。	
		1日エコライフ	自分たちができることから楽しく家庭で省エネについて考える啓発のため、エコライフチャレンジシートの取組を実施。	・1日エコライフ夏 参加人数 3,095人 減らせたCO ₂ 664kg ・1日エコライフ冬 参加人数 11,599人 減らせたCO ₂ 1,200kg	継続して夏と冬に開催。

番号	団体名	取組名	内容	令和4年度実績	令和5年度予定
3	わかやま市民生活協同組合	消費者啓発講座・学習会	消費者被害のない、だれもが安心して暮らすことのできる和歌山県の地域づくりに向けて、消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座を開催。また、消費者市民社会の形成に関するCSR活動を行います。	・消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座に参加。 ・6月15日 iDeCo, NISAふるさと納税&リフレッシュアロマの世界(和歌山市) ・11月29日 毛糸玉リース作りと消費税学習(田辺市) ・1月31日 あなたはどっち? 「つみたてNISA」vs「iDeCo」(和歌山市)	・消費者ネットワークわかやまの運営に協力し消費者トラブル、消費者教育推進法などの啓発講座・学習会、消費者啓発講座に参加。
		わがまち調べ活動	私たちの住む街のことを知り、くらしを見直すため、防災や環境、福祉、消費者行政などをテーマに和歌山県内市町村を訪問し、意見交換を実施。	わがまちしらべ活動(テーマ:消費者行政・環境・平和) 期間:2022年9月~12月 訪問:和歌山県下19市町村	わがまちしらべ活動(テーマ:未定) 期間:2023年9月~11月末 訪問:和歌山県下市町村
		食の安全に関する学習会	食の安全の取組について学ぶため、わかやま市民生活協同組合の商品政策に基づいた食の安全に関する学習会を開催。	職員を対象に商品表示、食品衛生、お申し出対応の学習を実施しました。	全職員を対象に、食の安全学習を実施し、理解・意識を高めます。
		エシカル消費のとりくみ	持続可能な社会の実現を目指して、エシカル消費の学習会を実施。	地域で学習会を開催。 「コープのエシカル(DVD・冊子)」を活用して学習。(8カ所で開催)	県内各地で開催予定。
		防災のとりくみ	地震や台風など自然災害の発生に備え、地域で防災のとりくみを開催。	地域で学習会を開催。 11月10日 防災すごろく学習(協力:湯浅町社協、湯浅町)を開催するなど、県内5カ所で開催。	県内各地で開催予定。
		子育て支援としての親子参加型のとりくみ	未就園児とそのお母さんなど子育ての世代の方々が交流できる場を開催。	組合員の自発的なグループである「コープくらぶ」の【ばあばのて】で、未就学児童と親子で楽しみながら地域の交流の場を実施しています。	継続して活動中
4	消費者ネットワークわかやま	消費者問題学習会	誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、啓発講座を開催。	2022年9月、11月、NPO法人消費者サポートネットさんに講師を依頼し、和歌山市、新宮市、田辺市、紀の川市で消費者啓発講座「知っておきたい! 成年年齢引下げと消費者トラブル」を開催しました。 2021年度に和歌山大学と消費者ネットワークわかやまの共催で作成した成年年齢引き下げに関する啓発講座DVDを、県内3大学で学生に発信しました。	①会員に消費者問題学習会などの機会を提供し、主体的な啓発・学習活動を広げます。 ②消費者啓発講座をします。 ・2023年9月16日(土)13:30-15:00 和歌山県勤労福祉会館(プラザホープ) 特殊詐欺やSNSを使った詐欺 和歌山県消費生活相談員 前田 佳子 氏 ・2023年11月25日(土)13:30-15:00 橋本市サイキヤニング産業文化会館「アザレア」(橋本市) 特殊詐欺やSNSを使った詐欺 和歌山県消費生活相談員 前田 佳子 氏
		消費者行政ヒアリング調査	誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、消費者行政ヒアリング調査を実施。	2010年から2022年まで13年継続して行なっています。 2022年9月7日~10月12日にかけて、消費者ネットワークわかやま世話人会とわかやま市民生活協同組合が合同で県下全市の消費者行政担当窓口を訪問し、現状の課題や今後の問題点などについてヒアリング調査を行ないました。 各市では地域の特徴に合わせて色々な取り組みをされています。今後の消費者行政の予算や相談員の確保、成人年齢の引き下げ対応等についての意見が出されました。	わかやま市民生協と共催で県内全市(9市)の消費者行政ヒアリング調査を実施します。
		公開学習会	誰もが安心できる和歌山の消費者行政の充実とひとりひとりが自立した消費者を目指すため、公開学習会を開催。	<第1回公開学習会> □ 日 時:2022年10月8日(土)14:00~15:30 場 所:わかやま市民生活協同組合 E*KAOホール テーマ:「寸劇で楽しく学ぼう 知っておきたい消費者契約法」 劇 団:劇団でんでん(NPO法人消費者サポートネット 和歌山) 解 説:岡 正人氏(弁護士) <第2回公開学習会> 日 時:2023年3月11日(土)13:30~15:30 場 所:和歌山城ホール 大会議室 テーマ:「賢い消費者になるために ~消費者と企業が共に考える~」 第1部 基調講演 13:35-14:05 「消費者と企業の双方向コミュニケーションが私達にもたらすもの」 講師 西山 登志子氏(KC's副理事長) 第2部 四ネルディスカッション 14:15-15:25 パネラー ・古谷 信二氏(榊湖池屋 お客様センター 西日本担当) ・宮本 雅宏氏(食品産業中央協議会 企画部長) ・津田 美法氏(わかやま市民生協 副理事長)	公開学習会を開催します。(年2回) <第1回公開学習会> □ 日 時:2023年12月2日(土)13:30~15:00 場 所:和歌山ビッグ愛201会議室 テーマ:「終活と悪徳商法・詐欺」 講師:小谷みどり氏(シニア生活文化研究所) <第2回公開学習会> 未定
5	和歌山県くらしの研究会	生活文化セミナー、機関誌発行	自立した消費者を目指し、機関誌の発行、街頭啓発へ協力、生活文化セミナーを開催、記念講演会を開催。	機関誌の発行、消費者月間街頭啓発への協力	6月21日 創立50周年記念式典・講演会の実施、機関誌の発行、消費者月間街頭啓発への協力
6	和歌山県食生活改善推進協議会	出前講座	地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、各年代に対し、食育教室、料理教室、健康づくり教室を開催。	・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:12回303人 ・単身男性を対象とした料理教室:3回54人 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:3回24人	・幼少時期児とその親を対象とした食育教室:10回 ・単身男性を対象とした料理教室:6回 ・高齢者を対象とした健康づくり教室:4回
		啓発	地域の子供から高齢者までの食育の推進及び健康づくりを定着させるため、啓発活動を実施。	世界禁煙デー(5月31日)の啓発:1回	世界禁煙デー(5月31日)の啓発:4回
				県内の安全安心確保の為、質量販売(ガスライターを使用しない等屋外等で使用)で使わなくなった容器や空き家に放置されたままになった容器を回収し、処分する。	県内の安全安心確保の為、質量販売(ガスライターを使用しない等屋外等で使用)で使わなくなった容器や空き家に放置されたままになった容器を回収し、処分する。

番号	団体名	取組名	内容	令和4年度実績	令和5年度予定
7	(一社)和歌山県LPガス協会	LPガス快適生活向上運動	高齢者のみで生活する家庭を対象に使用中のLPガス器具の点検を行い、“もっと安全さらに安心”を啓発する。	70歳以上の高齢者のみで生活する家庭及び同居する家庭を対象に使用中のLPガス器具の点検を行い、より安全な取扱説明及び安全装置の装着されていない機器の早期交換を啓発する。	高齢者等で生活する家庭及び同居する家庭等を対象に訪問し、自然災害が多発する中、令和3年より避難勧告が廃止され警戒レベル3で高齢者等(障害者含む)避難に変更されている事をメインに周知し、LPガス器具の使用状況も確認をし、生活支援のサポートを行う。
8	(一財)和歌山県老人クラブ連合会	研修会・啓発資料配布	高齢者に対し、消費生活に関する情報の提供、消費者教育・啓発活動を推進して、高齢者の消費者被害の未然防止・拡大防止及び早期発見を目指し、研修会の開催、啓発資料の配布。	5月、7月に開催した女性部会において、消費者問題について県下市町村老連に周知や取り組みの推進を図った。11月に70名参加による市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催し説明や中央会議の方針伝達により消費者被害の未然防止につなげた。	11月に市町村老人クラブ女性リーダー研修会を開催予定。
9	花王株式会社(花王エコーボミュージアム)	環境活動の情報発信と啓発	地球環境に配慮したモノづくりを目指す花王のエコ技術の情報発信のため、先端のエコ技術を体験する施設を開設。	新型コロナウイルス感染拡大の影響に考慮し、見学を制限し、小学校の社会科見学に対して教材提供とオンライン配信を実施。	小学校の社会科見学に対しては、6月から制限なくリアル見学を再開すると共に、教材提供とオンライン配信も並行して実施(学校のご希望により選択可)。
10	和歌山弁護士会	出前講座	架空請求、マルチ被害などの消費者被害にあわないための心構え、法的観点、対処法を伝えるため、出前講座を実施。	1件実施	申込みがあれば実施する
		児童養護施設退所者等アフターケア事業	機関誌の発行、消費者月間街頭啓発への協力	6月21日 創立50周年記念式典・講演会の実施、機関誌の発行、消費者月間街頭啓発への協力	依頼があれば実施する
11	和歌山県司法書士会	高校生等法教育事業	高校生等が、大学や専門学校進学、就職等、社会に出たのにトラブルに巻き込まれないように、契約の基礎知識、クレジットカード、ネットショッピング、悪徳商法、多重債務問題、ブラックバイトや労働問題のトラブルに遭遇した時の対処方法についてを司法書士を派遣し講義を実施している。	中学校にて、契約及び取引に関する講義を行った	高校生等が、大学や専門学校進学、就職等、社会に出たのにトラブルに巻き込まれないように、契約の基礎知識、クレジットカード、ネットショッピング、悪徳商法、多重債務問題、ブラックバイトや労働問題のトラブルに遭遇した時の対処方法についてを司法書士を派遣し講義を実施している。
12	(一社)和歌山県不動産鑑定士協会	無料相談会	不動産鑑定制度への理解と周知を図るため、不動産の有効利用や不動産の評価等について無料相談を実施。	10回開催	10回開催予定